愛知工業大学
オープンキャンパス

Open Campus
2024 REPORT

10/12 SAT
10:00 ▸14:00

大学概要説明
入試説明・推薦入試対策講座
資料配布コーナー
入試相談コーナー
学食体験

さわやかな秋空に恵まれた秋のオープンキャンパス 同時開催の愛工大祭・工科展も盛り上がりました！

天候に恵まれ、さわやかな秋空が広がる2024年10月12日(土)。八草キャンパスにて秋のオープンキャンパスが開催されました。
今年は同時開催の大学祭と開始時間を合わせた10時開場。そのため、お子様連れの来場者も多くみられました。オープンキャンパス受付前にはたくさんの高校生やその保護者たちが列をなし、オープンキャンパスと大学祭をどの順番でまわろうかと話し合っている姿が見られました。それでは愛工大祭・工科展も同時開催で大賑わいだった当日の様子をダイジェストでお送りします。

来場受付

受付は会場入口に設置されたテーブルで受付票を記入した方から順に入場します。開場時間前からすでにかなりの人数が記入を終え、入場待ちの列を作っていました。開場後は記入済みの受付票と引き換えにオープンキャンパスのトートバッグを受け取ります。トートバッグの中は愛工大オリジナルグッズのほか、アンケート用紙、愛工大の美味しいランチを体験できる無料チケットも添付されていました。

説明会

大学概要説明

愛工大は他大学と比べて何が違うのか?14もある専攻はそれぞれ何を学んでいるのか?などを分かりやすく解説。「電気工学」と「電気情報工学」、「機械工学」と「機械創造工学」など、高校生には想像しにくい学びの違いも丁寧に説明されていました。夏のオープンキャンパスとは異なり、ある程度志望校として見定めた上での来場者が多いのか、親御さんと一緒に真剣な表情で聞き入る様子が見られました。

入試説明&推薦入試対策講座

愛工大に入学するための各種入試制度やそのポイントを解説。応募要件のない愛工大独自の「工学部推薦」の内容など、この時期には重要な情報だけに真剣な表情でメモをとる姿も。募集要項には書いていないここだけの情報を交え、試験対策について詳しく話を聞くことができました。

入試相談コーナー

入試について気になっていることを何でも相談できるコーナー。大学職員に個別に相談できるとあって、いつも順番待ちが出るほど大盛況です。今回も順番待ちブースに人が途切れることのない人気ぶりでした。

資料配布コーナー

愛工大の大学案内はもちろん、入試ガイド、入試問題集(赤本)、理系女子向けの冊子など、自由に持ち帰ることができます。高校生たちは内容を吟味しながら、次々と手に取っていきます。山積みされた資料はみるみるなくなっていきました!

同時開催 工科展

学生たちの日頃の研究成果をプレゼンテーション！ ユニークで興味深いものばかりです。

工科展（AITプラザ1階ほか）は、研究室やサークル、チャレンジプロジェクトなど、それぞれの研究グループが日頃どのような研究を行っているのかを発表するイベントです。災害支援ロボットやロケット、学生フォーミュラなど、愛工大ならではといったブースが勢揃いし、高校生たちにアピールしていました。体験型のブースも多く、実際に手を動かして楽しそうに笑顔を浮かべる高校生たちの姿が見られました。

Pick Up! 個性豊かな研究グループがいっぱい！

20以上もある研究グループの中で、興味深いものを2つピックアップ。その内容に迫ります！

新しいゲーム関連情報技術を取り入れたゲーム制作と東京ゲームショウ2024への出展

9月に開催された世界最大級のゲーム展示会「東京ゲームショウ2024」の出展作品を展示。写真は歯ブラシスティックを使って動物の虫歯を治療するというゲーム。どのゲームも一見遊びのようでも、画像認識や位置情報解析など高度な情報技術を駆使した高度なものばかり。

蒸気機関車のレストアとイベントの出展

「いわくら観光振興会ミニSL部会」協力のもと、実際の蒸気機関車と同じ仕組みで動く『ミニSL』の車体レストアを行うプロジェクト。当日は今までコツコツと整備してきた車体の試乗イベントを開催。蒸気をあげながら力強くレールを疾走する姿に、大人も子どもも大興奮。

第64回 愛工大祭

大学祭も同時開催！ 2024年のテーマは「ENGINE」

今年の愛工大祭は、新しい企画が目白押し。テーマである「ENGINE」は、さまざまな人と繋がり、パワーを生み出す熱い愛工大祭を作ろうという意味を込めて名付けられました。大学内に設置されたスタンプポイントでスタンプを押し、すべて集めれば景品をゲットできる「スタンプラリー」、出店が並ぶ「楽市楽座」、クラブ展、人気アーティストを招いての野外ライブなど、楽しいイベントが盛りだくさん！ 高校生はイベントを楽しみ尽くす先輩たちの姿を見て、未来のキャンパスライフに思いを馳せているようでした。